

130201 ウソ

金剛山頂付近の「ちはや園地」で「ウソ」という名前の野鳥に出会いました。

スズメより一回り大きな鳥で、我が国では北海道や本州中部以北の針葉樹の林などで暮らしており、ガの幼虫などの昆虫を食べているようですが、冬になると九州以北の暖地に移動してきて、木の実や芽を食べています。

ですから、ここ大阪でその姿を見ることができるのは、冬季だけです。

この鳥の囀り（さえずり）は、まるで口笛のように「フィー フィー」と澄んだ声で、雄だけではなく雌も囀ります。

「ウソ」という名前は、「口笛」を意味する古語「うそ」から来ているそうです。

添付写真はいずれも「雄」ですが、頬から喉にかけての羽毛はよく目立つ赤色（淡桃色）で、全体的な色調は「和菓子」のような趣が感じられます。

また、なんとなく悲しげな調子を帯びた鳴き声も併せ持っており、古くから愛されてきた種のように、鳥籠で飼われていた方も多かったそうです。

（現在は、鳥獣保護法により規制されていますので、飼うことはできません）

ちなみに、現在の130円切手のデザインのモデルは、この「ウソ」です。

でも…

群れを作って桜並木や梅林、果樹園などにやってきて、ふくらみかけた花の蕾（つぼみ）を食べてしまうこともあるのです…





